

れいわ おんど  
令和7年度



〈開催日時〉 2月7日(土) 10時～15時

8日(日) 10時～15時

〈展覧会会場〉 幼稚園ホール

だいにふじようちえん



# 展覧会に向けて～

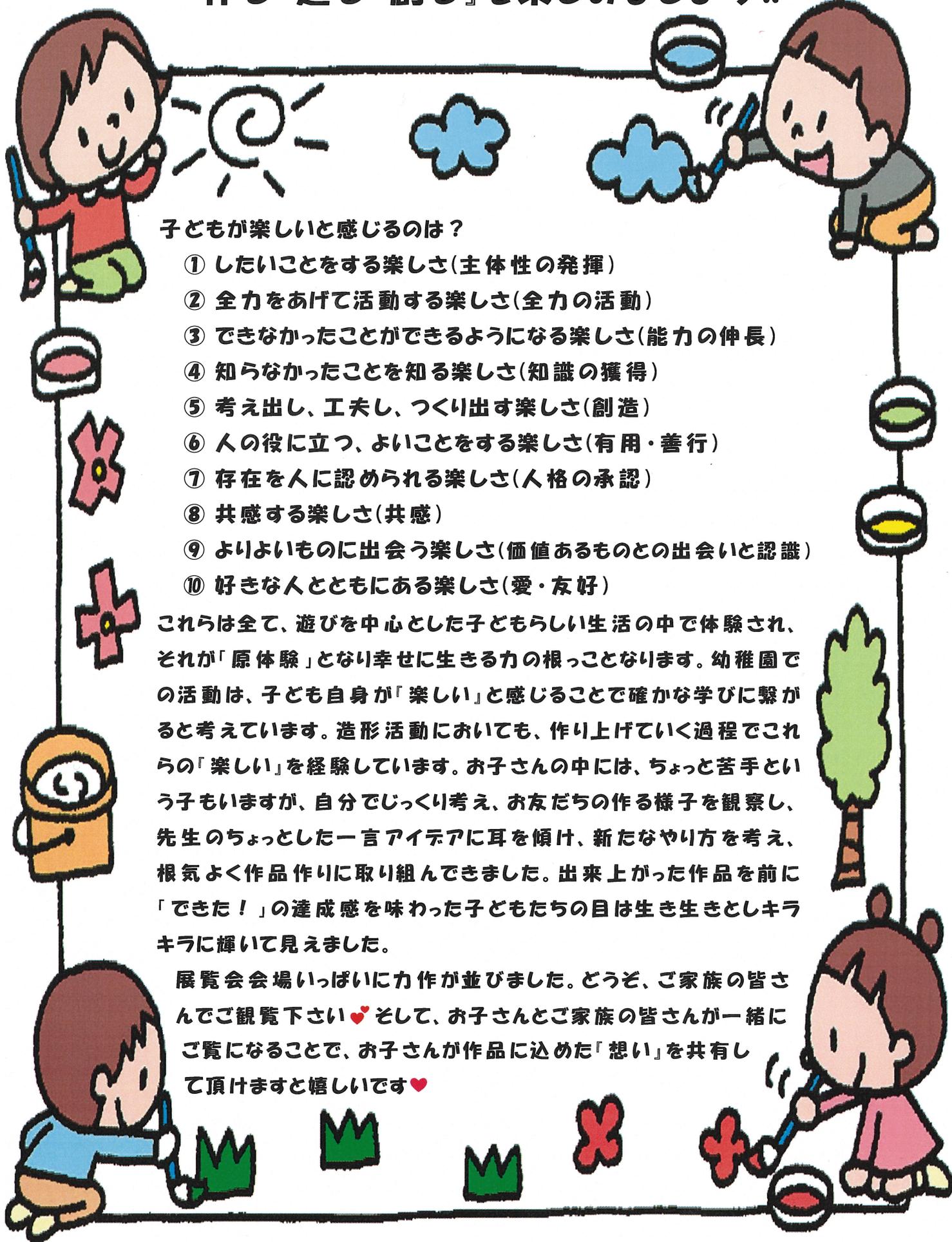
『作る・造る・創る』を楽しみましょう!!

子どもが楽しいと感じるのは？

- ① したいことをする楽しさ(主体性の発揮)
- ② 全力をあげて活動する楽しさ(全力の活動)
- ③ できなかったことができるようになる楽しさ(能力の伸長)
- ④ 知らなかったことを知る楽しさ(知識の獲得)
- ⑤ 考え出し、工夫し、つくり出す楽しさ(創造)
- ⑥ 人の役に立つ、よいことをする楽しさ(有用・善行)
- ⑦ 存在を人に認められる楽しさ(人格の承認)
- ⑧ 共感する楽しさ(共感)
- ⑨ よいものに会う楽しさ(価値あるものとの出会いと認識)
- ⑩ 好きな人とともにある楽しさ(愛・友好)

これらは全て、遊びを中心とした子どもらしい生活の中で体験され、それが「原体験」となり幸せに生きる力の根っことなります。幼稚園での活動は、子ども自身が「楽しい」と感じることで確かな学びに繋がると考えています。造形活動においても、作り上げていく過程でこれらの「楽しい」を経験しています。お子さんの中には、ちょっと苦手という子もいますが、自分でじっくり考え、お友だちの作る様子を観察し、先生のちょっとした一言アイデアに耳を傾け、新たなやり方を考え、根気よく作品作りに取り組んでできました。出来上がった作品を前に「できた！」の達成感を味わった子どもたちの目は生き生きとしキラキラに輝いて見えました。

展覧会会場いっぱいにか色が並びました。どうぞ、ご家族の皆さんでご観覧下さい♥そして、お子さんとご家族の皆さんと一緒にご覧になることで、お子さんが作品に込めた「思い」を共有して頂けますと嬉しいです♥





テーマ

「できた！がいっぱい」

3歳の誕生日を迎え、初めて園生活をスタートさせたひよこ組さん。慣れない環境に戸惑い、涙を流す様子もありましたが、「やってみたい!」という気持ちが少しずつ芽生え、ドキドキしながらも新しい事に挑戦する姿が見られるようになりました。1人ひとりの思いを大切にしながら、毎日の活動の中で個性豊かな作品が生まれました。お家の方に見て頂く日を楽しみに一生懸命心を込めて作りました。

制作  
「おさかな」

シールで目と口を表現し、うろこは好きな色の色紙を選び、のりで貼り付けて作りました。のりの感触を楽しみながら、指先を上手に使うことができました。

手形遊び  
「大きな魚」

絵の具の感触を楽しみながら、大きな紙に何度も夢中になって手形を押して遊びました。みんなの手形が集まって「大きな魚」に変身!!ひよこ組ならではの、元気いっぱいの作品になりました。

お絵描き  
「自分のかお」

「目はどこかな?」「口、鼻は、どこかな?」と一つひとつ確認しながら顔を描きました。すると、一人一人違う、とっても可愛い顔が完成しました。

「水槽の中  
のおさかな」

2種類の魚の中から、自分の好きな方を選び、クレパスで好きな色を塗りました。「どんな色のお魚にしようかな?」と考えながら作ることができました。



秋の遠足で訪れた水族館。大きな水槽に悠々と泳ぐ大きなシャチ。何もかもがスケールの大きな世界に、子どもたちの目は終始キラキラと輝いていました。その時の感動をもとに、図鑑や絵本、インターネットで調べたり「ここは、この材料を使おう」と工夫したり、一人ひとりのこだわりが光る作品ばかりです。ぜひ、お子さんとゆっくり会話を楽しみながらご覧頂けたらと思います。

### 個人作品（ひとりひとりが思いを込めて作りました）

わに、あらいぐま、くま、しろくま、へび、うみへび、かめれおん、ぼしりすく（イグアナ科のトカゲ）、こもどらごん、かものはし、うみがめ、かめ、かば、かに、かわうそ、ぞう、かぴばら、ペンギン、びーばー、かえる、ざりがに、らっこ、ふらみんご

### 個人作品「水辺でくらす動物」の作り方

- ① 動物図鑑、インターネットで調べたものを見ながら、自分の作りたい動物を決める。
- ② お家から持ってきて頂いた廃材や幼稚園にある材料を元に図鑑などを見ながら、どのパーツにするか？担任と話し合い一緒に組み立てる。

③折り紙や絵の具、布、毛糸、綿、画用紙等幼稚園にある材料やお持ち頂いた材料で着色する。

④様々な材料で顔に目や鼻、口、ひげ、爪などをつける。

※接着には、ボンドとのりを混ぜ合わせたボンドのりやボンド、色ガムテープを使用し、絵の具にもボンドを混ぜたボンド絵の具を使用しました。

## 技法画 < 構成画 > 「海の中」

①台紙に、トイレットペーパー、ぷちぷちを使って泡に見立てスタンプする。

②大小様々な丸・三角・四角・半円・長方形・切れ端などのグリッタースポンジシートを使い、それぞれが考え、組み立てた魚をボンドで貼る。

③目玉を水性ペンで描き、切り抜いて貼る。

## 生活画

4月から描いてきた生活画6点の中から1点を子どもたちと選びました。せんせいのかお、うんどうかい、たらしえ、おんがくはっぴょうかい、あきのえんぞく(なごやこうすいぞくかん)、せいかつはっぴょうかい





学年のテーマ

『水族館～海の生き物』

遠足で水族館に出かけたことがきっかけとなり、水族館で観た生き物以外はどんな生き物がいるのかな？と図鑑や写真を見て、自分が作ってみたい海の中の生き物を選び、お家から持ってきて頂いた廃材等を使って作りました。

イメージしたことを担任伝え、試行錯誤しながら取り組み、着色や装飾にもこだわって一生懸命作りました。自分の作品を友だちに説明している姿はとても微笑ましかったです。お子さんがこだわって作った作品への思いに耳を傾けながら、ごゆっくりご覧下さい。

### 個人作品（ひとりひとりが思いを込めて作りました）

タカアシガニ、ソテイカ、クロマグロ、ホホジロザメ、ニシバショウカジキ  
ジンベイザメ、マンボウ、チンアナゴ、シュモクザメ、リュウグウノツカイ、  
ミスダコ、アカマンボウ、ヒメフエキダイ、バンドウイルカ、シマイセエビ  
シャチ、ヒレナガカンパチ、シマアジ、モンガラカワハギ、カクレクマノミ  
ヌマガレイ、ウミツキチョウチョウウオ、イバラタツ、バラハタ、メカジキ、  
ツマリトビウオ、ハリセンボン、ノギリザメ、ロクセンスズメダイ、マダコ  
マダラトビエイ、アカシュモクザメ、トビウオ、マカジキ、ベニスワイガニ  
ホシコンベ、カフトガニ、ツチホゼリ、アオフダイ、タマガシラ、コロダイ  
マダイ、ササムロ、ゴマアザラシ、クラゲ、マイルカ、スナメリ

- ① 図鑑や写真を見ながら、自分の作りたい海の生き物を決める。
- ② 家から持ってきた廃材の中から土台になるものを選び、海の中の生き物の形になるように組み立てる。
- ③ 着色（折り紙や布、毛糸を貼ったり、ポンド絵の具で塗る）
- ④ ヒシやエラ、ウロコ、目や歯など、こだわりのパーツを接着する。



あけみ先生との絵画教室作品の中から、2点を展示します。

### 水彩画「桜」「イチョウ」

- ① 園庭の桜・イチョウの木を観て、どちらかを選び2枚の画用紙にクレパスで幹と枝、葉を描く。
- ② 幹と枝の色を1色選び、絵の具で描く。（筆を使い「線」を重ねて描く）
- ③ 「新緑」青々と葉が茂る桜やイチョウの木を観て、葉の色を2～3色選ぶ。選んだ絵の具を使って葉を描く。（筆を使い「点」で描く）
- ④ 「紅葉」赤や茶色に変化した桜や黄金色に変化したイチョウの木を間近で観察し、葉の色を2～3色選ぶ。選んだ絵の具を使って葉を描く。（筆を使い「点」で描く）

★園庭の木を1年かけて観察し、描きました!!



## 「海」～ポキポキ人形を使って～

- ① 海の色を考え、絵の具を1色選ぶ。
- ② たっぴりの水で溶いた絵の具を筆に含ませ、画用紙の上部の左から右へ、左から右へと筆を動かし、横線を描くようにしながら画用紙の全面を塗る。  
色がつかなくなったら、さらに筆に水を含ませて、絵の具を取り②と同様に横線を引く。(画用紙全体がグラデーションになっていく)
- ③ ポキポキ人形を使って、ポーズを作り、人形の関節を意識し、よく見ながら自分や友だちをクレパスで描く。
- ④ 海の様子をクレパスでのびのび表現し描く。

小野田先生の絵画教室作品の中から、1点を展示します。

## にじいろのさかな

- ① 絵本「にじいろのさかな」の読み聞かせをし、物語の世界をイメージする。
- ② 3～4色の好きな色の絵の具を選び、波を描く。
- ③ 魚の色の画用紙を選び、魚の大きさ・長さを考え、画用紙を縦横、好きな向きで半分に折る。画用紙の輪から半身を描き、はさみで重ね切りをする。
- ④ ウロコの色をホイル折り紙を3色選び、1/4に折り、丸を描き、はさみで重ね切りをする。
- ⑤ 魚・ウロコ・目を貼り、クレパスで海をイメージしながら描く。



昨年  
の  
展  
覧  
会  
で  
観  
た  
年  
長  
さ  
ん  
の  
「  
将  
来  
の  
自  
分  
」  
の  
作  
品  
。  
今  
度  
は  
自  
分  
た  
ち  
が  
作  
る  
ん  
だ  
！  
と  
や  
る  
気  
満  
々  
で  
、  
そ  
れ  
ぞ  
れ  
が  
将  
来  
の  
自  
分  
の  
こ  
と  
を  
考  
え  
、  
思  
い  
描  
く  
「  
将  
来  
の  
自  
分  
」  
を  
作  
り  
ま  
し  
た  
。  
ま  
ず  
は  
全  
員  
で  
「  
風  
船  
は  
り  
こ  
」  
に  
挑  
戦  
！！  
水  
溶  
き  
糊  
を  
使  
い  
、  
風  
船  
に  
紙  
を  
5  
重  
に  
貼  
り  
重  
ね  
、  
乾  
か  
し  
て  
い  
き  
ま  
す  
。  
次  
の  
日  
に  
も  
う  
乾  
き  
、  
頭  
の  
形  
に  
な  
っ  
て  
い  
る  
こ  
と  
に  
大  
喜  
び  
の  
子  
ど  
も  
た  
ち  
で  
し  
た  
。  
作  
品  
の  
組  
み  
立  
て  
の  
前  
に  
は  
「  
設  
計  
画  
」  
の  
制  
作  
を  
し  
ま  
し  
た  
。  
大  
き  
な  
模  
造  
紙  
に  
寝  
転  
ん  
で  
ポ  
ーズ  
を  
と  
り  
、  
等  
身  
大  
の  
自  
分  
に  
服  
を  
描  
き  
、  
絵  
の  
具  
で  
着  
色  
を  
し  
ま  
し  
た  
。  
目  
・  
鼻  
・  
口  
な  
ど  
パ  
ー  
ツ  
ご  
と  
に  
何  
で  
作  
る  
の  
か  
も  
そ  
れ  
ぞ  
れ  
が  
考  
え  
て  
、  
鉛  
筆  
で  
書  
き  
加  
え  
て  
あ  
り  
ま  
す  
の  
で  
、  
ぜ  
ひ  
完  
成  
形  
の  
「  
将  
来  
の  
自  
分  
」  
と  
見  
比  
べ  
て  
楽  
し  
ん  
で  
頂  
け  
た  
ら  
と  
思  
い  
ま  
す  
。  
そ  
し  
て  
、  
い  
よ  
い  
よ  
廃  
材  
を  
組  
み  
合  
わ  
せ  
て  
体  
を  
作  
り  
ま  
す  
。  
作  
り  
た  
い  
ポ  
ーズ  
の  
動  
き  
も  
含  
め  
て  
、  
ど  
う  
組  
み  
合  
わ  
せ  
る  
と  
良  
い  
か  
？  
試  
行  
錯  
誤  
し  
な  
が  
ら  
組  
み  
立  
て  
ま  
し  
た  
。  
折  
り  
紙  
や  
布  
、  
カ  
ラ  
ー  
ビ  
ニ  
ール  
な  
ど  
様  
々  
な  
材  
料  
を  
使  
っ  
て  
一  
人  
ひ  
と  
り  
工  
夫  
し  
て  
着  
色  
し  
作  
り  
上  
げ  
た  
作  
品  
は  
と  
て  
も  
個  
性  
が  
出  
て  
い  
ま  
す  
。  
細  
部  
ま  
で  
こ  
だ  
わ  
っ  
た  
子  
ど  
も  
た  
ち  
の  
渾  
身  
の  
作  
品  
を  
、  
ど  
う  
ぞ  
ご  
ゆ  
っ  
く  
り  
ご  
覧  
下  
さ  
い  
。



## 個人作品 「将来の自分」

サッカー選手、ケーキ屋さん、アイスクリーム屋さん、お花屋さん、  
コックさん、消防士、医者、警察官、美容師、動物園の飼育員、  
アクション俳優、お寿司屋さん自衛官、恐竜の学術員、アイドル  
バレエダンサー、アナウンサー、宇宙の研究者、小学校の先生、  
薬剤師、パティシエ、チアリーダー、テニスプレーヤー、バレリーナ、  
プロゴルファー、幼稚園の先生

## おがくず粘土「自分の顔」

おがくずでできている粘土を使用して「自分の顔」を作りました。お  
がくず粘土の特徴として、硬さは柔らかくて扱いやすいのですが、す  
ぐに乾いてしまいポロポロになってしまうのが難点、時間との勝負!!  
そのことを十分理解したところで造形活動を始めました。最初はよ  
く練り、顔の土台となる部分を作っていく、次に目・鼻・口・眉・ま  
つ毛・耳・髪と各パーツを作りました。立体的に作ることが難しい様  
子も見られましたが、それぞれ子どもたちの個性がキラリ★友だちと  
作品を見せあっこしながら楽しく造り上げることができました。

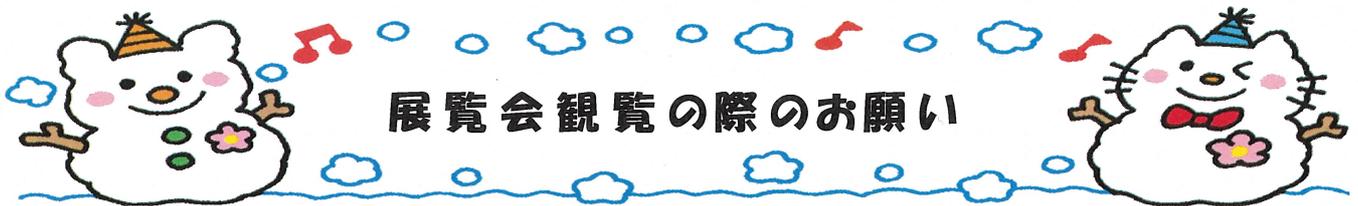


年長の作品には、全て、子どもたち  
が書いた名札がついています!!



## 全身画「設計図」

- ① B紙に寝っ転がり、ポーズを決めたところで担任が鉛筆で型取りをする。
- ② 鉛筆で型取りした線をクレパスで、なぞり、絵の具で着色していく。
- ③ 顔のパーツや服の模様など細かいところをクレパスで描く。
- ④ 何を使って作るのか考えて、鉛筆で説明を書く。



○展覧会は、2月7日(土)、8日(日)の2日間で、開催時間は10時～15時です。終了時間の30分前までにご来園下さい。

※6日(金)は準備のため13時降園(園バスの運行あります。帰りの時間は通園バス時刻表の送り時間・1時降園の欄をご覧ください)、7日(土)8日(日)は、どちらか、もしくは両日、お家の方と一緒にご観覧下さい、9日(月)10日(火)は展覧会の振替休日、11日(水)は建国記念の日のため休園となります。

※6日(木)の朝の預かりは通常通り、午後の預かり保育は15時迄、7日(土)8日(日)の預かり保育はありません。



○お車でお越しの方は、園庭又は園庭南駐車場をご利用下さい。

※送迎用駐車場は、園庭内への通路として利用しますので、中央3台のスペースは、駐車禁止とさせていただきます。園庭に駐車される方は枠内にお停めください。

※小幡緑地公園、ナフコさんの駐車場には絶対停めないで下さい。園の駐車場が空いていない場合は、しばらくお待ち頂くか、近隣のコインパーキングをご利用下さい。

○正門から中にお入り頂きます。並ばれている方がいらっしゃる場合は前の方に続いてお入り下さい。

※会場が混雑している場合は、お待ち頂くこともありますのでご了承下さい。

※体調の悪い方はお入り頂けません。

○靴を履き替え、外靴を開いている靴箱に入れ、職員室前の廊下(職員室側)に

展示してある作品をご覧下さい。虹のお部屋前からホールへとお進み下さい。

○職員室前から作品を展示しています。会場内の混雑を防ぐため一方通行でご

観覧頂きます。ホールを出たら職員室前廊下(園庭側)の作品をご覧になって、

靴を履き替え正門よりお帰り下さい。

○ご観覧の際は、大きな声を出さないように、また走ったりあぼれたりすることのない

ようにお気をつけ下さい。

※子どもたちが心を込めて作った大切な作品が

並んでいます。作品には絶対に触れず、目で



観てお楽しみ下さい。また事故及び迷惑防止のため、お子さんの手を繋いで

頂き、未就園のお子さんにつきましても、手を繋ぐか抱っこをしてご  
観覧下さい。



※小学生以上のお子さんにつきましても、落ち着いて観覧するよう  
前もってお伝え下さい。

○お子さんは名札・制服着用でお越し下さい。保護者の方は、代表の方が必

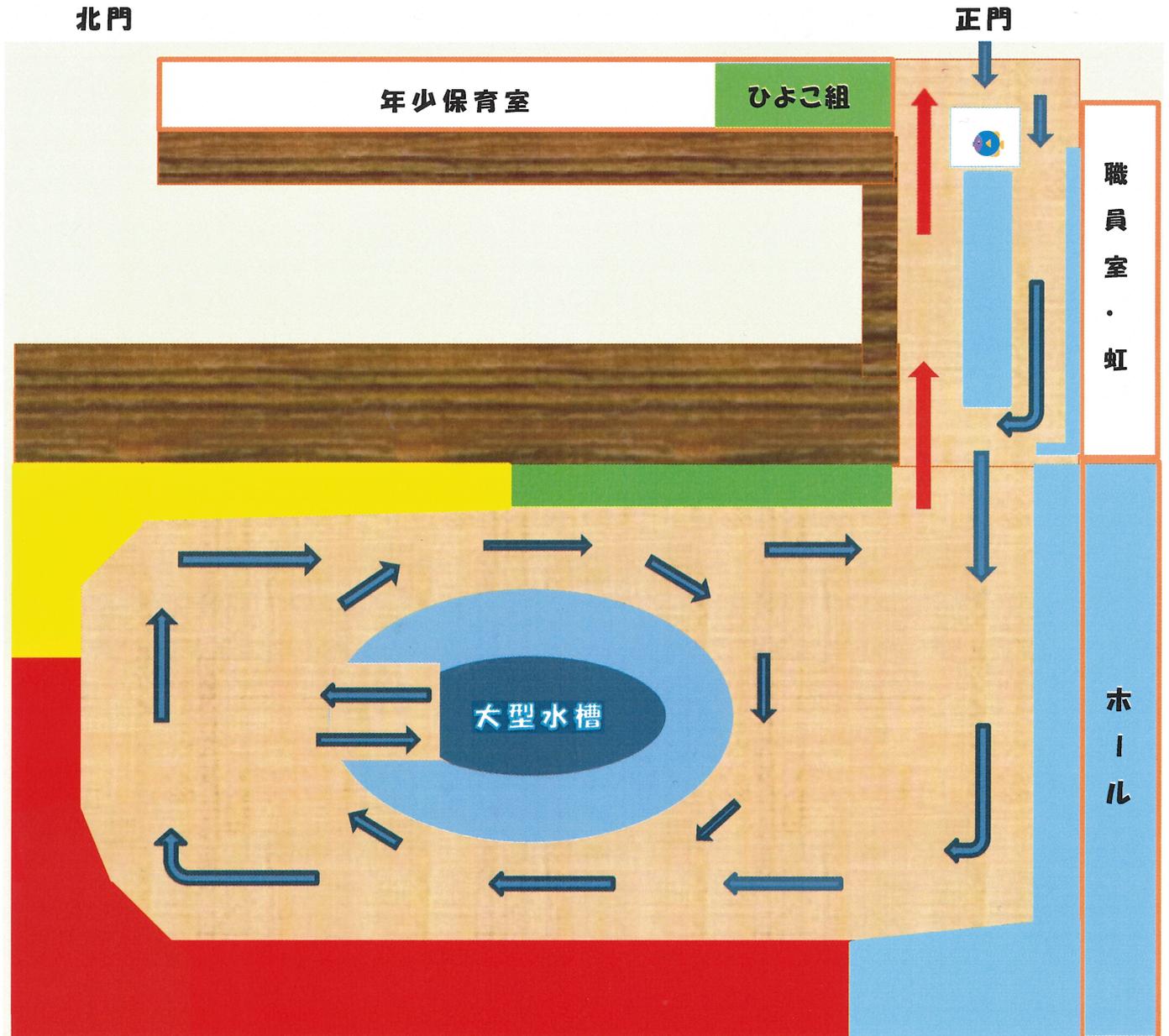
ず吊り下げ名札を着用し、ご家族の皆様と一緒にご覧下さい。

○お子さんの上靴・靴袋、ご家族の皆さんの上履きをお持ち下さい。

○子どもたちが心を込めて作った作品です。どうぞ存分に楽しみ下さい。



## 〈会場案内図〉



★作品は、職員室前廊下とホールに展示しています。ホール前方が出入口になっています。

★上記の会場案内図の矢印に添ってお進み下さい。

★会場案内図では、展示作品を各学年の色でお示ししてあります。

★年長児の作品 ■ ★年中児の作品 ■

★年少児の作品 ■ ★満3歳児の作品 ■



展覧会をご覧頂きありがとうございます。

出来上がった作品を、お家の方に見て頂けることを子どもたちはとても楽しみにしていました。大好きな人と作品を観てまわり、展覧会の世界観と一緒に感じられるというわくわくな気持ちと、きっと褒めてもらえる！の期待感で心の中はいっぱい!!「パパとママとじいじとばあばとくるんだよ」「おにいちゃんもくるんだあ」と友だち同士でお話していましたよ♪

さて、ちびっ子アーティストたちの力作はいかがでしたか？どの子も「何を作ろうかな？」から始まった作品作り、時間をかけ、思いを込めてコツコツと取り組んできました。それぞれの年齢に合った造形活動ができたと思います。

子どもたちが思い思いに工夫をしたところを見つけて、言葉を掛けて頂けたらと思います。そして頑張ったお子さんを心から褒めて、ぎゅーっと抱きしめてあげて下さいね♥

最後になりましたが、様々な廃材やとびっきりの素材集めにご協力頂きありがとうございました。

またボンドのりや絵の具などでお仕事着等が随分汚れていて、お洗濯も大変だったのではと思います。本当にありがとうございました。



本日はお忙しい中、展覧会にお越し頂きありがとうございます。